



本当の支えに、 なれているのか。

に い む ら
〔南区〕福岡市議会議員 無所属 **新村まさる**

——— 市政報告FUKUOKA! 2021年度の活動報告

Vol.7

私たちは、平穏な毎日も起えることのできる日常に、どこか麻痺してしまっていたのかも知れません。コロナパンデミックの激動や、絶望さえよぎるウクライナ情勢が、生きる辛さと命の尊さを鮮明に映し出しているように感じます。友人たちが暮らすミャンマーの政変による惨劇や世界各地の戦禍もしかりです。報道を通して耳目に触れる世界中の涙の前に、無力感に苛まれ、自責の念さえ押し寄せてきます。私の微々たる活動は、果たして「支え」として届いているのか。

喜怒哀楽という人の感情は、決して自分も満足させるためのものなどではなく、実は人を幸せにするために発するものではないでしょうか。人の喜びが自分の喜びとなっているか、人の哀しみが自分の哀しみとなっているか。やるべきこと、やれることは、泉のように湧き出てきます。それらと真正面から向き合おうとする精神力が大切です。気力を養い、活動に尽くすためにも、まずは自分の心を凜と清々しく。365日、使命に一路、これまで以上に決起する一年に致します。私の活動の全ては、多くの方に支えられています。皆様も、どうかご家族を大切になさってください。末尾に、今も世界中で失われている尊い命に弔意を捧げます。

令和4年 春陽 福岡市議会議員 新村 優

コロナ禍の議会

ウイズコロナによる福岡市議会の運営も2年が経ちます。この間、通常よりも多くの本会議(定例会・臨時会)が開かれてきました。人口が増え続け、福岡市は元気で活発な街として取り上げられることが多いですが、あらゆる分野の生活シーンで多くの市民を悩ませ苦しめる行政課題も数多くあります。市民の声を集めるのはもちろんのこと、私たち議員は、休み無しに連続して解決・改善に努力しなければなりません。



コロナ禍の地域

このイラストは小学生児童が登校する時間に合わせて行っている「朝の見守りパトロール」の時のものです。コロナ禍で行事ごとが中止に追い込まれても、地域自治が止まることはありません。福岡市内各地、多くの地域ボランティア有志のおかげで、小学校区や町内(自治会)が運営されていることを自覚します。地域自治に携わっているおかげで、より近い場所でも多くの方の暮らしや感情に接することができ、様々な地域課題を肌身で感じています。





ランドセルのボタンタッチで、繋がる笑顔

ランドセルボタンは、NPOによるボランティア事業の1つとして、2021年1月から始めた取組みで、寄贈いただいたランドセルを捐ぎ上げて、それを必要とするご家庭にお渡しするというプロジェクトです。これまで(R4.3月)に76人の児童(家庭)が活用してくれました。しかしながら、ひとり親家庭や外国人家庭など、高額なランドセルの購入が困難なご家庭は、潜在的にもっと多いのではないかと思っています。



全国から助まのお手紙や文房具がたくさん届きました。



ランドセルを必要としたご家庭への情報発信にメディアも協力。



福岡に、「こどもホスピス」という優しい場所を

ある日突然、我が子に小児がんを発症して、ご家族で闘病生活と向き合っていた当事者との出会いに、心を大く動かされました。闘病後、後遺症・合併症と向き合い続けるご家族もあれば、幼・若く命を失ったご家族もあります。小児がん家族の精神的・経済的な苦しみと葛藤は社会にもです。当事者への継続的な支援と併せて、福岡での「こどもホスピス」の実現を目指しています。

※「こどもホスピス」の解説については、別頁をご参照ください。



横浜こどもホスピスでは施設代表の田川さん、横浜労連の横濱さんが丁寧に対応。



横浜こどもホスピスを見学したときの様子で報道されました。



作：みどり先生

大人が協力して、子どもたちの笑顔を

別荘でも児童虐待を特長に取り上げましたが、家庭の事情により、安心して親と一緒に暮らすことができない子どもたちの数は少なくありません。児童養護施設や乳児院などの施設で暮らす児童もいれば、里親家庭で養育を受ける児童もいます。親からの愛情を感じる機会に乏しく、心が不安定になりがちです。秋には、福岡県産の花を使ったフラワーアレンジメント企画を実施できました。



子どもたちにとっては初めての生け花体験で、終始、楽しみなが教室が進みました。



同じく表入組で、フローレンス・ブレイン企画を実施(協力:福岡リハビリC)



中身は、あやでっか！



NPOの国際交流事業を通して絆を育んだカンボジア・ミンマールの孤児院の子供たち、コロナ禍の支援停滞に伴って、その暮らしは困難の一途です。加えてミンマーでは、軍による政変以降、戦禍が生きていたため食糧不足も懸念されています。明日に希望を見出せない、現地の支援仲間との協力によって、孤児院で「将来の夢」を絵に描く特別イベントを実施しました。生活物資等の現地支援の他、海を渡って雇い彼らの「将来の夢」を福岡で多くの人に見ていただく取組みをしています。

海を渡って、FUKUOKAに届いた「将来の夢」



将来の夢をみんなで共有。笑顔は、必ず希望を繋げてくれるはず。(ミンマー)



現地で届けられる支援物資(お米)は子どもたちの栄養に直結します。



子どもたちにとっての希望の絵は、今後多くの場所で見せていこうと思っています。

「支え合いの社会」の大切さを次世代へ伝える

毎年、小学校で行っている特別授業と併せて、大学生にも講義を行う機会があります。私自身の活動で得た知見や、各方面で並々ならぬ苦労を遂げている方々の実例を取り上げながら、政治の果たすべき役割や「支え合いの社会」の大切さについて一緒に考えてみたい。将来、社会貢献の主体者になって欲しいと願います。



小学校では、社会が抱える将来課題と提示し、議会や行政の役割について一緒に考えます。



大学の講義では、支え合いが必要な事例をもとに、公助と共助の両面から考えます。



小学校での授業後にはいつも、それぞれ将来に向けての熱い決意がこもった感想文が届きます。



地域防犯に込められた、みんなの熱意

私は7年前から地域防犯に携わるようになり、4年前に校区の防犯会長になりました。夜間のパトロールや防犯についての話し合い、街中の防犯備品の管理など、隣のあたらない場所での地道な活動ですが、地域にとても貢献できる活動だと思います。防犯委員仲間との皆さんの熱意と協力によってその活動は支えられています。



毎月の校区防犯会議の様子。地域の安全は委員仲間の皆さんの年間を通じた努力の賜物です。



歳末パトロールの時期に南警察署からの激励を受ける様子。警察との連携もバッチリで



とても仲が良い校区防犯役員、皆さんのおかげで防犯会長の大変さありません。

ユニフォーム姿で子どもたちと過ごす週末

週末は、ほとんどスーツを着ていません。野球のユニフォーム姿です。寒い日も、暑い日も、子どもたちと一緒に一喜一憂できる環境を楽しんでいます。頑張る子どもたちの成長は、日常の仕事にも力を与えてくれます。心をリフレッシュする場所になっているのかもしれない。



試合前に内陣を組んで、その日の目標選手たちと1つひとつ確認する様子。



これら行う練習の内容と特に意識して欲しいことを選手たちに伝える様子。

議会質問 ピックアップ

2021年度、議場で福岡市行政に問題提起・要望を行ってきた内容の一部を紹介させていただきます。紙面に限りはありますが、福岡市の課題に興味・関心を寄せていただけると幸いです。



特集1. 小児がんと闘う家族の暮らし



Q 小児がんという病気の特徴は？

A 一般的に15歳未満の小児に発生するがん。児童本人の生活習慣とは関係なく発症するものであり、どの家庭の子どもでも発症し得る病気です。

小児がんは、ある日突然に、体調や身体にその兆候が表れます。小児がんと診断を受けたその日から、子どもとその家族の生活が一変してしまいます。半年から1年ほどの長期入院を伴う、身体的にも精神的にも辛い闘病生活の始まりです。

福岡市には、九州唯一の小児がん「**拠点病院**（九大病院）」と「**連携病院**（九州がんセンター・福大病院）など専門治療機関が集積しており、市外・県外からも多くの家族が入院・通院しています。



Q 福岡市内の3つの専門病院（拠点・連携）、年間に新規入院する小児がん児童は何人いますか？

A **220人**（平成30年） ※再入院・通院は含まない

入院闘病時の暮らし

抗がん治療による辛い副作用や社会生活からの隔離という孤独で不安な日々が続きます。家族にとっても、闘病治療が生活の中心となり、尊い命を失う恐怖や、病院と自宅との二重生活による過酷な精神・身体の疲労と経済的負担がのしかかります。兄弟児の育児もままなりません。



退院後の暮らし

退院後も通院を必要とし、少なくない再発への恐怖や後遺症・合併症による心身の不調とは生涯つき合っていかなければなりません。社会生活や活動が制限されることも多く、これまで「あたりまえ」だった暮らしが「あたりまえ」ではなくなります。

小児慢性特定疾病

国は、生命に危険が及ぶ恐れがあって、療養に多額の費用を要する16の小児疾患群を「小児慢性特定疾病」と定めています。小児がんをはじめ、内分泌疾患や心疾患・神経系疾患などが該当します。



Q 福岡市には、小児慢性特定疾病の児童は何人いますか？

A **1,876人**（令和3年3月末時点）※医療費助成ベース

医療の進歩によって、より多くの命が繋がるようになりました。裏を返せば、**医療や福祉など様々なケアを必要としながら成長していく児童と、彼らを支え続ける家族が増えている**ということです。



病気の子どもと家族の日常生活を支えるために

重い病気や障がいを抱える子どもにとって、学びや体験の機会確保の課題や集団生活・就労などの課題があります。それを支える家族への相談支援や介助支援・レスパイト支援なども求められます。

現在、疾病児童家族への公的な支援制度が行き届いているとは言い難い状況です。国は政令市に、疾病児童の健全な育成に係る施策の実施・充実を求めています。児童や家族の切実な個別ニーズへの支援が図られるよう、今後も福岡市行政に求めています。



2. 福岡に、「こどもホスピス」という新しい場所を



こどもホスピスって、なに？

重い病気や障がいを抱える児童とその家族を支援対象として、医療ケアや小児緩和ケアを担う専門スタッフが常駐のもと、①遊びや学び・体験を通じた成長と発育の機会、②家族の思い出づくりや休息の場所、③同じ境遇を生きる家族同士のコミュニティやピアサポートの場所、④愛する子どもの最期を看取するための場所など、様々な役割や機能を持ち合わせた民間によるサポート施設です。

2021年11月にOPENしたばかりの横浜こどもホスピス「うみとそらのおうち」を訪ねました。

「うみとそらのおうち」は、多くの個人や企業からの支援・寄付が寄せられたことで実現した民間による施設ですが、開設・運営に至るまで、横浜市行政による協力は欠かせないものでした。



横浜こどもホスピス
「うみとそらのおうち」



1Fはアイランドキッチン
を備え、複数家族が
集うことができる広々
多目的スペース。



2Fには家族でお泊りできる部屋
が3つ、身体を持ち上げるリフト
がレールで様々な部屋と繋がっ
ています。

横浜市行政からの主な協力

- ① こどもホスピスを建設するための
場所として、市有地の無償貸与
- ② 看護師の配置費用として、
年間500万円(上限)の助成
- ③ 市民の理解を広げるための
広報と地場企業への協力依頼



こどもホスピスの実現に向けて

こどもホスピスは、全国でも前例が少なく、福岡市役所内に担当課はまだ定まっていませんが、まずは2022年3月、「NPO法人福岡子どもホスピスプロジェクト」の当事者皆さんと福岡市子ども未来局・保健福祉局(2022.3月～保健医療局)との意見交換の場が実現しました！これを皮切りに、福岡でのこどもホスピス誕生を目指して、当事者皆さんと一緒に取組みを前に進めていきたいところです。

3. 子どもへの虐待、未然防止への挑戦



福岡市児童相談所が受理した児童虐待相談件数

平成27年度 756件 → 令和2年度 2,678名 **約3.5倍に増加**

Q 児童虐待を児童相談所に通報するのは、誰ですか？

A 多い順に…警察、近所の方や知人、学校 など

虐待などにより子どもの命や心身の健康が特に危惧され、緊急性が高いと判断された場合、対象児童は「一時保護」されます。

令和2年度 福岡市で一時保護を受けた児童数：**180人(延べ)**

Q 児童相談所が対応した虐待事案のうち、「一時保護」には至らないものの、見守りや支援を必要とする児童はどうなりますか？

A そのような児童と家庭は、「在宅支援」に位置付けられ、児相と各区役所・関係機関(学校・警察など)による情報共有のもと、虐待の再発防止と子どもの健全な成長のための「家庭支援」に取り組むこととされています。

「在宅支援」に位置付けられた児童については、各機関による情報共有が図られます。そして、各区役所に設置されている要保護児童支援地域協議会において、家庭の状況に応じて「要保護児童」「要支援児童」への判定が行われます。

要保護児童

保護者がいない、または保護者に養育させることが適当でないと認められる児童

要支援児童

保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童

要保護・要支援児童数の推移(福岡市)

	平成27年度	令和2年度	※それぞれ4/1時点
要保護児童	426人	626人	200人増
要支援児童	294人	375人	81人増

児童虐待の現場では、家庭内外の様々な問題により、親が長い間ストレスを溜め込み、言葉や身体的な暴力となって、そのはけ口が子どもに向かうケースがほとんどです。虐待を楽しむような親や大人はほんのごく一部のはずで、虐待が日常化してしまっている家庭であっても、そのほとんどは子どもへの愛情さえ失っているわけではありません。

Q 児童虐待を未然に防ぐために、生きる上で様々な問題を抱えて、苦しい状況に直面する家庭の早期発見と、その家族へベッシュ型の行政支援が届く仕組み・取組みが極めて大切だと思いますが、福岡市はどう考えますか？

A 児童虐待の早期発見・早期対応とあわせて、家族が抱える課題を早めに把握し、不安や悩みが小さなうちから支援する未然防止にしっかりと取り組んでいく。

博多一番太鼓の長尾さん(長住商店街のわらび餅屋さん)

店主の長尾さんは、20数年来、自転車屋台による移動販売の傍ら、市内各地で、ご飯を食べることもままならない子どもたちへ無料でわらび餅を届けながら、安否確認や相談支援を続けています。長尾さんからは、これまでに直面してきた児童虐待の実例話を数多くお聞きします。涙を流しながらスーパーで万引きをする

幼い兄妹、母親の内縁の夫から性のはけ口とされ家出を決意した小学5年生の女の子…。大人の私たちが網の目になって、児童虐待の芽を摘もうとする地道な努力が必要です。



特集4. 将来の夢「学校の先生」が減っている!?



学校の先生になるためには? ※正規教員(公立小・中学校)

- ①大学などで教職課程を修了し、教員免許を取得する
- ②さらに、都道府県・政令市が実施する教員採用試験に合格する

福岡市が実施する教員採用試験

平成23年度 令和3年度

受験者数 2,001人 → 1,317人

合格倍率 7.4倍 → 2.4倍



教員のなり手不足は、全国的にも社会問題化しています。教員の大量退職時代の到来に加えて、福岡市においては児童生徒数の増加傾向が続いていますし、他都市より先進的に少人数学級を進めていることから、優秀な教員人材の確保は、今後の教育行政の根幹を揺るがしかねない重要課題です。

実際に、学校現場では教員不足にひっ迫する現状があります。令和3年度当初、教職員定数(7,881人)に対して14人の未配置が起こっていました。さらにひっ迫するのは、年度途中に、病気休職・産休・育休などを理由に、正規教員に欠員が出た時です。この場合、通常なら速やかに「講師」が配置されて、正規教員の代わりを務めることになります。



Q 講師になるための要件は何ですか?

- A ①教員免許を取得していること
②福岡市の講師名簿に登録すること



Q 主に、どんな人が講師になるのですか?

- A ①教員採用試験合格を目指している人
②既に退職をしている教員OB

令和2年度、新たに発生した欠員状況

病気休職:59人 産休:235人 育休:266人

この内、欠員発生から2週間以上経っても代わりの講師を配置できなかった事例は、81件。

急な欠員時には、講師名簿内だけでは適任者をマッチングできないことも多く、教育委員会や学校現場では、教員OBに個別に打診したり、求人サイトを活用したりと、講師探しへの尽力と模索が続いています。学校現場の教員不足が長期化して、校長自らが授業に入らざるを得ないという学校もありました。

Q 今後の教員人材確保への方針と取組みは?

- A ①教育実習時の評価導入や大学からの人材推薦を活用する選考制度を設ける
②講師経験者を対象に勤務評価を活用する選考制度を新たに導入する
③教員志願者の増加に向けて、高校生などへの情報提供や啓発・PRに取組む



特集5. 車いすに対応する特別市営住宅!?



福岡市営住宅の総管理戸数は、3万1,354戸。(令和3年3月末現在)福岡市住宅都市局は、市民のニーズに合わせて、昭和50年から市営住宅への「車いす生活に対応する住宅」の導入を進めてきたとしています。



車いす対応住戸の特徴

- ◎玄関ドアなどの引き戸化
- ◎バリアフリー対応
- ◎キッチン・トイレなど車いす対応装備
- ◎外への避難用スロープ設置 など



▲バルコニー側からスロープで避難できる仕様



◀バリアフリーと引き戸が特徴の広めの玄関

お風呂場やトイレも手すり付きの広めの仕様 ▶



圧倒的に供給量が足りていないのが現状です。年に4回行われる市営住宅の入居募集の際には、住宅供給公社の窓口にも、車いす対応住戸に関する相談・問い合わせが数多く寄せられています。

昨今、市営住宅の入居者及び入居希望者の高齢化が顕著です。高齢化は今後さらに進みますので、車いす対応住戸へのニーズは益々高まるでしょう。

Q 市営住宅は、老朽化に伴い各地で建替えが進んでいます。建替え時、各所・各設備にユニバーサルデザインを取り入れ、車いす対応住戸の早急な増設を計画すべきではないですか?

A 高齢者の増加を踏まえ、ユニバーサルデザインを基本仕様とし、誰もが安心して暮らせる居住環境の確保に努めていく。

どれくらい、お金がかかるの?

市営住宅建替え時、一般的な間取り・広さの住戸の場合、住戸ひとつあたり1,300~1,500万円ほどかかると言われています。車いす対応にするためには、それに約280万円の費用が上乗せとなります。普通住戸の1.2倍ほどの予算で車いす対応住戸を導入することができます。



Q 現在、車いす対応住戸は、いくつありますか?

A 65戸(令和3年3月末時点) 供給戸数全体のわずか0.2%

Q 令和2年度の1年間、車いす対応住戸の募集数と入居申込み数は?

A 募集数は1戸、入居申込み数は15世帯

特集6. コロナ禍が高齢者の知力と体力を奪う!?



Q コロナ禍の自粛生活が長期化する中、高齢者の身体機能や認知機能の低下、精神衛生の悪化などの健康問題が全国的に表面化していますが、福岡市の課題認識はどうか？

A コロナ禍においても、感染拡大防止施策を図りつつ、高齢者の健康づくりや介護予防に向けた取組みを推進することが重要。

通所型介護施設での民間調査によると、
コロナ不安でリハビリテーションを2週間
お休みした高齢者群の握力や下肢の筋力
に明らかな低下が確認されたそうです。



コロナ禍が続いた令和2年度、介護に関するデータを見てみよう！

Q 高齢者が新たに「要介護認定」を申請した件数は？

A 令和1年度：2万530件 ➡ 令和2年度：1万9,664件
1,000件近く減少しており、コロナ不安により介護サービス
を受けるための申請控えが生じているということです。

Q 要支援者向けの通所型介護サービスを利用した人の数は？

A 令和1年度：7,882人 ➡ 令和2年度：6,631件
15.9%も減少し、身体・認知機能の維持向上のために
身体を動かす機会が減っている状況です。

一般的に、高齢者の状態に応じた要介護度の「区分変更」は、年
間を通じて適宜行われるべきものです。しかし、国は、コロナ禍の
臨時的措置として、感染防止の観点から現況の介護度のまま審査
を経ずに、介護認定の有効期間を延長できるようにしました。

その結果…、審査を受けて

要介護度がより**重度に変更**となったケースは

令和1年度：1万4,447件 **50%以上**

令和2年度：7,061件 **の減少！**



つまりは…、
多くの高齢者が、実際の状態よりも要介護度が**軽度**に**区分され**
たままであり、本来の区分に応じて受けることのできる介護
サービスやリハビリの機会損失が起こっています。

高齢者が安心して介護サービスを受けるために

福岡市内には、介護事業所が約2,300箇所あり
ます。介護現場による感染対策への自助努力も限
界に達しており、今後、感染対策備品・資機材にか
かる経費や職員への慰労経費への助成・補助な
ど、行政による継続的な支援を強く求めています。



特集7. コロナ禍が加速させる「超少子化」という未来



合計特殊出生率とは…

1人の女性が生涯に産む子どもの数を示すもので、自然増減に
よる人口動態を評価する指標です。人口を将来にわたって維持す
るための数値は「**2.07**」とされています。(人口置換水準)

令和3年9月議会で「福岡市の合計特殊出生率、最新の数値
は？」と質問をしたところ、**6年前の数値(平成27年：1.33)**を示
す答弁が返ってきました。※国勢調査時に国が算出したもの

少子化改善への子育て施策等の検証・評価を行っていくため
には、毎年数値推移を注視していく必要があります。福岡市
は、少子化対策にそれほど関心がないのでしょうか…。

Q 合計特殊出生率を独自に算出し、**A 13市**(20政令市中)
毎年公表している政令市は？

Q 他都市と同様の手法で算出した場合、福岡市の最新数値は？

A 令和2年の合計特殊出生率(推計値)：**1.26**

※その後公表された国勢調査による福岡市合計特殊出生率：1.20(令和2年)

Q これから福岡市は、合計特殊出生率どう向き合っていくの？

A 合計特殊出生率をはじめ、様々な指標数値の動向を分析し
ながら、子育て施策の推進に活用していく。

産まれてくる赤ちゃんの数が、年々減るとどうなる？

- ◎30年後のお母さん・お父さん世代が減り、子どもの数は先細る一方
- ◎人口減による消費力減少に伴う国内経済の衰退
- ◎将来の働き手(稼ぎ手)の減少に伴う加速度的な税収入減
- ◎現役世代が国全体の扶助費を支える社会保障が成り立たなくなる
- ◎「支え合い」の社会から「自助努力」の社会へ



人口が増え続ける福岡市なのですが…

- ◎この5年で、福岡市で産まれた赤ちゃんの数が、**11.6%**減少
- ◎年間出生数が**14,797人**(平成27年度) → **13,079人**(令和2年度)
- ◎20～39歳女性人口が**230,313人** → **211,965人**
(平成22年度) (令和2年度)

Q 令和2年度、福岡市の妊娠届出数の前年比は？※令和3年1月末時点集計

A 1万2,112件で前年同月比：**6.9%**の減少

Q 令和3年1月、福岡市の **A 985人**
出生数の前年比は？ 前年同月比：**14.7%**の減少



全国的な出生数の減少傾向は顕著で、主に未婚化と晩婚化の進展に起
因しています。今の子どもたち、これから産まれてくる子どもたちの将来を
考えると、コロナ不安で少子化が加速する現状を見て見ぬ振りする余裕は
ありません。福岡市には、少子化に関するあらゆる指標データの集約・分
析に努力いただいて、その内容を市民の皆さんとしっかり共有いただくの
と併せて、能動的な少子化対策へ矢継ぎ早な行動を求めるところです。

令和3年度も、様々な課題を議会で取り上げてきました!



令和3年6月 定例会

- 1.自治会等が自費設置した防犯カメラによる事故への補償について
- 2.感染症対応シティ促進事業における多店舗経営事業者への配慮について
- 3.児童養護施設における今後の役割・機能転換について
- 4.介護事業者が取組む感染対策への継続的な費用助成の必要性

令和3年9月 定例会

- 5.合計特殊出生率等の公表の在り方について
- 6.ワクチン接種の効果や副反応等への検証について
- 7.エビデンスの蓄積と市民への定期的な情報公開の重要性について

令和3年9月 決算特別委員会

- 8.本市における小児がんの子どもの状況について
- 9.小児慢性特定疾病の子どもや家族が抱える悩みとその支援について
- 10.将来的な「こどもホスピス」施設設置の実現に向けて

令和3年12月 定例会

- 11.児童虐待防止への親子支援モデル構築に向けた日本財団との協定について
- 12.虐待相談事案の子どもへの保護・見守り体制の充実について
- 13.家族関係や家庭環境が不安定な子育て家庭にプッシュ型の支援が届く仕組みの重要性について

令和4年3月 定例会

- 14.今後の市営住宅建替え時における車いす対応住戸の導入促進について
- 15.市立小・中・特別支援学校への教職員配置と講師の代替配置について
- 16.本市における教員需要と教員人材確保への課題について

令和4年3月 予算特別委員会

- 17.市営住宅における単身世帯需要に合わせた建替え計画の必要性について
- 18.小中学校でのオンライン授業が児童生徒にもたらす影響について
- 19.児童生徒に配給しているタブレット端末の今後の活用について

コロナ禍でも、できること。

中面にも記載しましたが、私は校区で防犯会長を務めています。2020年度は中止に迫り込まれた小学校での防犯教室行事でしたが、2021年度はオンライン方式で開催することができました。ひとえに学校・警察・防犯仲間の皆さんの意欲と協力のおかげによるものです。悩みも苦労も尽きませんが、その分、コロナ禍の決断と行動は、時により大きな価値を残してくれるのではないのでしょうか。



図書室が「オンラインスタジオ」になりました。授業の前に確認の打合せを行う様子です。授業終了後は、児童たちが図書室に押しかけて来るほど好評でした。



全27クラスで、スクリーンに映し出しながら授業は実施されました。普段と違った雰囲気、興味津々に聞き入ってくれていたそうです。



パソコン越しに、それぞれのクラスへ授業を行います。児童たちの返事や反応が、図書室まで直接聞こえてきました。



南警察署の稲富警部補。防犯教室は、南警察署との共催で実施しました。普段聞けないような警察のことをたくさん教えていただきました。

児童にとっては、自分たちの身を守るための防犯についてしっかりと学びながら、警察官や日頃から見守りをしてくれている地域の大人を身近に感じてもらえる機会となりました。

コロナ禍のぼっこりコラム



うさぎのむーちゃん(オス)

長丘小学校のウサギ小屋で産まれてからもうすぐ2歳を迎えます。頭を撫でられるのが大好きです。慌ただしい我が家にとって、癒しの存在です。

第40期主将就任

この春から6年生になる息子が、長丘ファイターズ第40期主将となりました。毎日鍛錬を積む姿勢には頭が下がります。自分のことより、仲間のことを大切に!頑張ってください!



新村まさる市政事務所

〒815-0075 福岡市南区長丘2-24-3武末第一ビル1F
TEL:092-408-6375 FAX:092-408-6376
✉ info@niimuramasaru.com

プロフィール

福岡市議会議員 (無所属)

新村 まさる

1980年7月26日生まれ 福岡市出身

【経歴】

- ◆ 福岡市立柏原小学校／柏原中学校
- ◆ 福岡大学附属大濠高校
- ◆ 早稲田大学／早稲田大学大学院
- ◆ アサヒビール株式会社 入社・退社
- ◆ 福岡市議会議員選挙(2011年) 落選
- ◆ 参議院議員大久保勉事務所 公設秘書
- ◆ スペクトラムアンドパートナーズ株式会社 取締役
- ◆ NPO法人 次世代のチカラFUKUOKA 活動開始
- ◆ 福岡市議会議員選挙(2015年) 当選
- ◆ 福大大濠高校同窓会 校友会委員長 就任
- ◆ 長丘校区 防犯会長・自治協役員 就任
- ◆ 福岡市議会議員選挙(2019年) 当選

